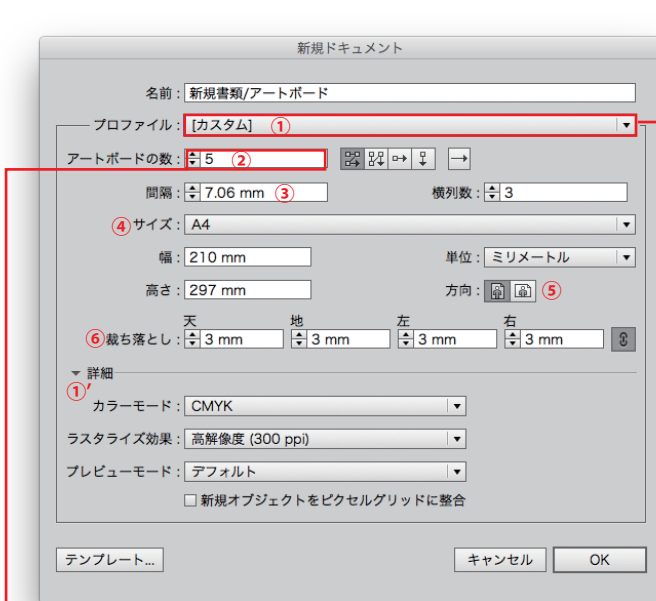


新規書類 / アートボード

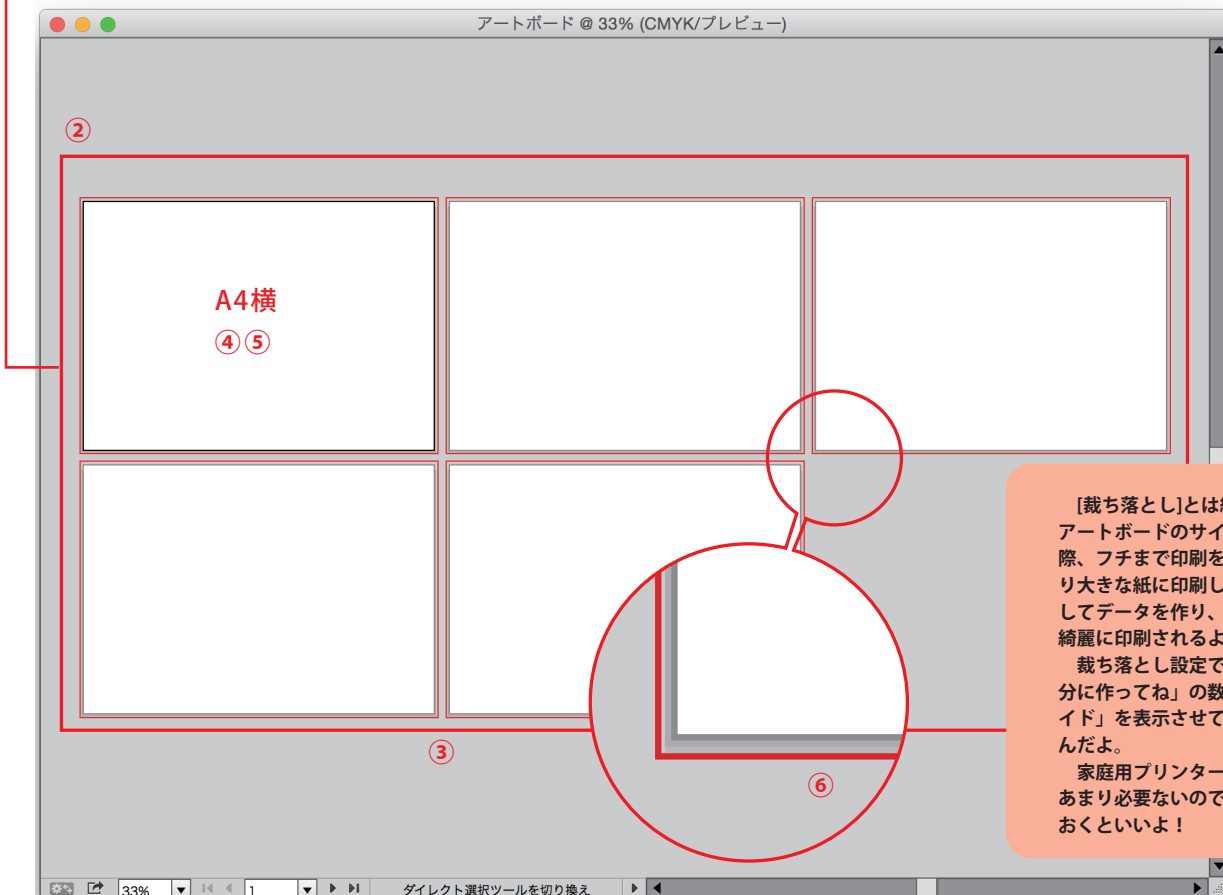
Adobe Illustrator でN (新規ドキュメントの作成) をすると最初に聞かれるのが新規ドキュメントの設定画面。ここでは用紙のサイズや向きだけでなく、作業スペースを何個作るかや、プリント用なのか、Web 用なのかといったデフォルト設定ができるよ。

● 新規ドキュメントを作成する【メニューバーのファイルから新規書類もしくはNする】



プロフィールはあまり気にしないで作ることが多いけれど、印刷物を作りたいのに、この設定が「Web」になっていたりするとカラーモードや解像度が印刷に適さない設定になるので気を付けてね！

- ① プロファイル プリント用や web 用などデータの種類によって設定を変えられる。但し、アートボードを増やすと「カスタム」になるので、その場合は詳細設定をしよう。
- ① 詳細設定 カラーモードやラスターライズ時のデフォルト設定ができる。アートボードを増やすとプロファイルでの設定ができないのでここをチェックしておこう。
- ② アートボード 印刷したり書き出したりできるエリア。100個まで作れる。
- ③ 間隔 アートボード同士の間隔。
- ④ 用紙サイズ アートボードの大きさを指定できる。
- ⑤ 用紙向き アートボードの向きで縦か横を選ぶ。
- ⑥ 裁ち落とし設定 裁ち落としデータは通常 3 mm 余分に作るとされている。そのための余分にデータを作るための枠を表示する指定。



[裁ち落とし]とは紙を断裁すること。アートボードのサイズで制作物を作る際、フチまで印刷をしたい場合、一回り大きな紙に印刷して、余分にはみ出してデータを作り、切り落とした時に綺麗に印刷されるように作る。裁ち落とし設定ではそのための「余分に作ってね」の数値を入れる⑥とガイドを表示させてくれる便利機能なんだよ。家庭用プリンターで印刷する場合は、あまり必要ないので0mmに設定しておくといいよ！